

スペイン. 文学の旅

訳例と解答例

12. はたご屋『猫』(4), p.29

若者の感謝の言葉, あらためて絵を見たときの驚嘆の声, それを大切にたたんで帯にしまうぐさ, 私にしたお礼, そして彼の言葉を借りれば「心のやさしい根っからの」だんなさんに巡り会えた幸運を大げさに喜ぶときの大変な称賛のしかたをここで示すのは不可能と言えないまでも至難の業になるだろう. ただ語っておかなければならないのは, そうこうしている間にとつぷりと日が暮れて, 私は辞退したのだが, マカレーナの門まで送ると言ってきたことがなかったことである. あまり熱心に言うので, どうとう一緒に行くことにした. 短い道のりであるが, 彼は道すがら自分の恋物語を一部始終話してくれたのだった.

*L1. Referir 以下の不定詞はそのまま主語になるのですか? 英語のように to みたいなのはいらぬんですか?

→スペイン語の不定詞はすべて to のようなものがない原形です. ここでは sería の主語になっています.

*L1. Referir の意味上の主語はだれですか.

→作者を含めた一般の人を指します.

*L2., 4. con que が 2 回出てきましたが, 訳すときどのようにすればいいですか?

→これらの con は関係節の中にある con です. L2 では lo dobló con el cuidado, L4 では ponderó la suerte de... con las alabanzas hiperbólicas という構造を把握して訳しましょう.

*L3. guardárselo の se は en la faja ですか?

→いいえ, 若者が「自分に物としてしまい込む」という意味です. se は guardar の意味上の主語(el muchacho)と一致する再帰代名詞です.

*L5 の sería の主語は?

→Referir...です. referir 以下は referir の目的語です. 「…を語ることは「困難であろう」となる.

*L6. como...の節はどこにかかりますか？

→se empeñó にかかります. 「そうこうしている間にとっぷりと日が暮れて」は正確には「そうこうしている間にとっぷりと日が暮れたので…」という意味で理由を示します.

*L6. Sólo diré の文は que 節が 3 つ目的語となっているという解釈でいいのでしょうか？

→いいえ, diré の目的語は直後の que 節だけです. その後にある que は diré の目的語の que 節の中にあるものです.

*L6. Sólo diré でどうして「…しなければならない」というニュアンスになるのか？

→前段の「…を語るのは至難の業になるだろう」とあって, それでもなお, 「…だけは言っておきたい」という意味です. ここで, 作者は困難だとしても, 「これだけは言っておかなければならない」という意志や義務感のようなものを感じていたと思います.

*L7. que quise que no の no は直後の節の内容に対して no と言っているのですか.

→その通りです. 最初の que は説明を導入する接続詞です. 次の que は quise の目的語を示す接続詞で, 動詞がある普通の節では接続法になるところですが, ここでは no だけで節になっています.

*L7. Se empeñó en acompañarme は「私にしつこくついてきた」という意味ではないか？

→empeñarse en...は「…を強く主張する」という意味です. ここでは, 私に同伴することを強く求めている, と解釈できます.

*dio en ello の意味は？

→dar en は「…に固執する」という意味です.

*L10. encontrar forma de +不定詞という表現はよく使うのですか. 直訳するとどうなるのでしょうか.

→とくに決まった表現というよりも, encontrar と forma の組み合わせと見るべきでしょう. 意味は「自分の恋物語を一部始終話す方法を見つけた」となります. 若者は, その話をしたかったのだが, 道のりが短かったため, 全部話すことは難しかったよです. それでもどうにかそれができた(その方法=話し方が見つかった), という感じですよ.

*L10. duró, encontró のように点過去が 2 つ続くことがありますか?

→よくあります. ここでは従属節(mientras duró)も, 主節も, 過去に終わってしまったこととしてとらえられています.

●EJERCICIO, p.30

- (1) ガイドは電車が8時に到着すると言った.
- (2) 私は修道院に続く通りを散歩していた.

* (1) 現在形では, 「私」が今このことを言っている時点のことを意識している. すると, 「電車はこの 8 時に到着する」という感じです. 一方, 過去形では, ガイドが「言った」時点でのことを意識していて, 「電車はその時の 8 時に到着する(予定だった)」という意味になります.

* (2) 現在形では, その通りが修道院まで続くということが現在でも同じことである, という意識が働いています. 一方過去形では, 過去でそのような認識がなされたという意味で, 現在については問題にしません.